

第3 企画研修係

1 教育研修

(1) 事業の目的

精神保健福祉行政を円滑に推進するため、精神保健福祉業務に従事する市町村、保健福祉事務所及び関係施設の職員等を対象に、資質や技術の向上を目的に基礎研修や専門研修等を実施した。

(2) 事業の実績

1) 精神保健福祉基礎研修

対 象	日 程	内 容 ・ 講 師 等	参 加 人 数
新任の精神保健福祉担当者 (市町村、公共職業安定所、障害者職業センター、保健福祉事務所、指定相談支援事業所、障害福祉サービス事業者)	5/24 (火)	精神保健福祉法の概要 県障害政策課精神保健室補佐 島田 和之 精神保健福祉に係る福祉制度の概要 (障害者自立支援法の概要) こころの健康センター主幹(係長)上村 純江 こころの病気は回復していく - それぞれの役割を知ろう - こころの健康センター所長 浅見 隆康	73
	5/25 (水)	こころの健康センター及び精神科救急情報センターの業務概要 こころの健康センター次長 後藤 清乃 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の取り組み 館林市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業専門員 梅沢 亮太 精神障害者家族の理解 ~ 家族に必要な支援について ~ 精神障害者家族会いずみ会 役員 櫻井 由治 ユーザーからのメッセージ ~ 生活障害(生活のしづらさ)について ~ 地域活動支援センターみのり施設長 工藤 さつき ほかユーザーの方2名	73
	6/24 (金)	こころの健康センターの相談業務について こころの健康センター 技師長 依田 裕子 地域精神保健福祉相談の進め方と実際(相談の視点) こころの健康センター 主幹 深澤 広子 地域精神保健福祉相談の進め方と実際(演習) こころの健康センター 企画研修係	33 延 179

2) 精神保健福祉専門研修

対象	日程	内容・講師等	参加人数
精神保健福祉担当者（市町村、障害者職業センター、保健福祉事務所、障害福祉サービス事業者）	7/28 （木）	・「統合失調症について」 財団法人大利根会榛名病院院長 長谷川 憲一	116
	9/29 （木）	・「パーソナリティ障害」 こころの健康センター部長 木村 貴宏	141
	10/25 （火）	・「うつ病の理解とその対応」 こころの健康センター技師長 神谷 早絵子	89

3) 精神保健福祉相談技術研修

対象	日程	内容・講師等	参加人数
精神保健福祉相談援助に従事する相談担当職員等	12/15 （木）	・事例検討 参加者から事前提出された処遇困難事例（4例）について、参加者及び従事者全員で問題点の確認や意見交換し、今後の支援方法等について検討。 こころの健康センター 技師長 相原 雅子 " 保健師	6

4) 高次脳機能障害専門研修

対象	日程	内容・講師等	延参加人数
医療系専門職、福祉施設職員、市町村の障害者自立支援担当職員、当事者、家族等	H24 1/15 （日）	基調講演「高次脳機能障害と地域リハビリテーション」 群馬大学医学部保健学科（基礎作業療法学） 教授 外里 富佐江 シンポジウム「地域支援ネットワークの構築にむけて」 座長：南魚沼市立ゆきぐに大和病院 院長 宮永 和夫 シンポジスト：総合ケアセンター榛名荘 はるな夢工房 管理者 篠原 彰則 社会福祉法人 明清会ベルガモット サービス管理責任者 齋藤 照代 前橋赤十字病院（支援拠点機関） 医療社会事業課長 中井 正江	138

2 広報普及活動

(1) 事業の目的

県民に対し、精神保健福祉に関する正しい知識の普及を図るため、各種の事業や広報媒体を通じ、全県的規模で広報普及活動を実施した。

(2) 事業の実績

1) 「こころの相談Q & A」の新聞掲載

電話相談や来所相談で相談の多い事例について、毎月第2、第4月曜日に上毛新聞の「生活」面に掲載した。

掲載月	テ	マ
4月	・就寝前にリラックスを	・飲酒の理由 考えよう
5月	・定期的な相談が必要	・話すことで少し楽に
6月	・生活の様子	まずは理解
7月	・被災地の経験聴く	
8月	・家族の支え必要	
9月	・自殺予防 最後の砦	・早めに精神科受診を
10月	・家族の対応が大事	・見えにくい脳障害
11月	・気持ちの制御法	考えて
12月	・ふさがちな子ども ・うつ病の復帰 慎重に	・母の自死 心身に影響
1月	・まずは専門科で診察	・家族会で悩み共有
2月	・本人に配慮し連絡を	・支援員が援助
3月	・本人納得の上で受診	・勇気を持って相談を

2) ホームページ

当センターの事業の紹介や案内、統計資料の公表をホームページにより行った。
ホームページアドレス：<http://www.pref.gunma.jp/07/p11700016.html>

3) 図書等の貸出（貸し出し不可の書籍等も含む）

蔵書 全冊数 1,499冊

3 技術指導及び技術援助

(1) 事業の目的

地域精神保健福祉活動を推進するため、精神保健福祉の専門的中枢機関として、保健福祉事務所をはじめ各種関係機関に対して技術指導及び技術援助を行っている。

(2) 事業の実績

平成23年度の技術指導・援助件数は26件であり、対象者別延人数は1,228人であった。

No.	実施日	事業内容	主催者	対象者	出席人数	対応職種
1	H23.6.23	こころの病気について	太田市社会福祉協議会	ボランティア活動に興味のある方	14	医師：1名
2	H23.6.29	生徒が抱える「心理的問題」について	太田産技術専門学校	職業訓練指導員	26	医師：1名 保健師：1名
3	H23.7.1	こころの健康について	伊勢崎保福(かんらんしゃ)	希望者	23	医師：1名
4	H23.7.21	統合失調症について	高崎市障害福祉課	患者家族	25	医師：1名
5	H23.8.18	薬物乱用防止について	渋川保健福祉事務所	薬物乱用防止指導員 他	80	保健師：1名
6	H23.9.8	精神的な病気について、こころの状態と睡眠の取りやすさ、ストレスの種類、ストレスが原因となる病気	前橋市東中学校	前橋市立東中学校 3年生	10	保健師：1名
7	H23.9.21	障害者及び家族の災害時対応について	伊勢崎市精神障害者家族会連合	精神障害者、家族等	18	保健師：1名
8	H23.9.26	うつ病の早期発見・早期対応について	高崎市障害福祉課	高崎市民 (本庁地区)	103	医師：1名
9	H23.9.27	薬物乱用防止について	桐生保健福祉事務所	薬物乱用防止指導員 他	30	保健師：1名
10	H23.10.4	薬物乱用防止について	藤岡保健福祉事務所	薬物乱用防止指導員 他	21	保健師：1名
11	H23.10.7	心の病気について (ゲートキーパー講座)	渋川市民生・児童委員協議会	民生・児童委員	159	保健師：1名
12	H23.10.12	高齢者のうつ病と自殺について	桐生市 (地域包括支援センター)	介護支援専門員	98	医師：1名

13	H23.10.14	こころの病気について	玉村町社会福祉協議会	ボランティア活動に興味のある方	30	医師：1名
14	H23.10.21	東群馬看護専門学校 (ゲートキーパー養成研修)	東部保健福祉事務所	看護学生	71	保健師：1名
15	H23.10.24	うつ病の早期発見・早期対応について	高崎市障害福祉課	高崎市民 (群馬支所地区)	56	医師：1名
16	H23.10.25	太田看護専門学校 (ゲートキーパー養成研修)	東部保健福祉事務所	看護学生	25	保健師：1名
17	H23.11.11	難病の療養相談の受け方について	難病相談支援センター	難病相談支援員、相談員他	25	保健師：1名
18	H23.11.15	精神疾患(統合失調症・うつ病等)に対する理解	みなかみ町 地域包括支援センター	ケアマージャー	23	保健師：1名
19	H23.11.25	群馬県におけるアウトリーチと医療観察法の今後の課題	前橋保護観察所	関東管内社会復帰調整官	33	医師：1名
20	H23.11.28	富士重工太田高等看護学院 (ゲートキーパー養成研修)	東部保健福祉事務所	看護学生	39	保健師：1名
21	H23.11.30	ゲートキーパー養成研修	東部保健福祉事務所	精神保健福祉ボランティア(こぶしの会)	12	保健師：1名
22	H24.1.31	ゲートキーパー養成研修	東部保健福祉事務所	太田市健康推進員	65	保健師：1名
23	H24.2.1	こころの病気について知ろう	伊勢崎保福(そよ風)	ボランティア活動に興味のある方	29	保健師：1名
24	H24.2.28	ゲートキーパー養成研修	昭和村役場	民生委員	32	保健師：1名
25	H24.3.9	薬物乱用防止について	桐生保健福祉事務所	更生保護女性連盟	120	保健師：1名
26	H24.3.16	新入社員のメンタルヘルス	桐生地区新入社員教養講座実行委員会	桐生市内の事業所	61	保健師：2名

4 こころの県民講座

(1) 事業の目的

現代社会が抱える精神保健福祉に関わる諸問題をわかりやすく取り上げ、県民に対する精神保健福祉の知識の普及や意識の高揚を図る。

(2) 事業の実績

1) テーマ 「子どもたちとのコミュニケーション技術を学ぼう ～あなたが変わると子どもが変わる～」

期 日 平成23年11月6日(日)

会 場 群馬会館 ホール

講 師 岩坂 英巳(奈良教育大学 特別支援教育研究センター長)

参加者 133名

2) テーマ 「災害時のこころのケア～いま、一人ひとりができること～」

期 日 平成24年1月22日(日)

会 場 群馬会館 ホール

講 師 金 吉晴(独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 成人精神保健研究部 部長)

参加者 177名

5 若年認知症家族支援

(1) 事業の目的

若年認知症は、治療法が確立されておらず、働き盛りで発症するため、当事者や家族の心理的落ち込みはもちろん、収入の途絶や家事や子育て等の問題も生じる。また、介護保険が利用可能であっても、施設側にとって受け入れが難しいことや当事者が高齢者施設になじめない等の問題があるため、家族は情報も乏しく孤立しがちとなっている。このため、当事業は相談や家族の交流の場を設けることにより、家族の孤立や、介護で燃えつきることを防止し、生活の質の向上を図ることを目的としている。

(2) 事業の実績

1) 家族会支援

若年認知症ぐんま家族会（設立：平成18年6月28日）

月1回第3月曜日に開催。

スタッフ：精神科医師（顧問）、保健師2名、家族会賛助会員、ボランティア（介護支援専門員・社会保険労務士・看護師）

内 容：学習会、家族・当事者交流会、個別相談

定例会・役員会

H23.4.1～H24.3.31

月 日	内 容	人 数	備 考
H23.4.18	平成23年度事業について	11人	役員会
H23.5.16	総会 講演「若年認知症の動向について」 ゆきぐに大和病院長 宮永和夫先生	27人	
H23.6.20	学習会「障害者年金について」 社会保険労務士 前田良子先生 交流会、個別相談	16人	
H23.8.15	テイク・ベース「はるな夢工房」紹介 交流会、「熱中症の予防」について	14人	
H23.10.17	家族会報告 交流会、個別相談	22人	
H23.11.21	家族会報告 交流会、個別相談	16人	
H23.11.27	交流会「イモ掘り会」	24人	高崎健康福祉大学生ボランティア・教員参加
H23.12.19	家族会報告 交流会、個別相談	16人	
H24.1.16	家族会報告 交流会、個別相談	18人	
H24.1.29	若年認知症サポートセンター研修会参加協力	18人	シホジウム：会長、副会長 その他サポーター2名
H24.2.20	家族会報告 交流会、個別相談	16人	若年認知症フォーラムin群馬報告
H24.3.19	家族会報告 交流会、個別相談	16人	
	合計	214人	

啓発活動

H23.7.17 若年認知症サポートセンター通常総会(徳江会長、大沢副会長)

H23.12.5 ぐんま認知症アカデミ-第5回秋の研究発表会(徳江会長)

H24.1.29 第3回若年認知症ぐんま家族会フォーラムin群馬(家族会協力)

全国各地講演(大沢副会長)

群馬県認知症対策推進協議会等参加(徳江会長)

若年認知症家族・支援者協議会参加(徳江会長、大沢副会長)

家族会だよりの発行 随時

2) 若年認知症相談

来所相談：月1回第3木曜日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数		1	0		1		1	0	2	0	0	0

6 関係機関との連携及び組織の育成

(1) 組織の育成

1) 群馬県精神障害者家族会連合会（通称 群馬つつじ会）への支援

群馬県精神障害者家族会連合会は、県内の各家族会の連合会として昭和62年6月に発足し、群馬県内の精神障害者の社会復帰、医療、福祉及び社会的理解の向上を図るための地区家族会活動との連携や、また、家族同士が支え合い語りあうことや障害特性・制度等の学習を通じて会員への啓発や交流を図っている。

支援内容

役員会、理事会において、家族会運営や事業企画等への助言を行った。

県内家族会 17家族会 会員数432人

平成24年3月31日現在

会の名称	事務局所在地	会員	設立年月
あゆみ会	伊勢崎市東町2657 あゆみ作業所	11	昭 41. 4
やよい会	伊勢崎市境女塚2883-12 福社会館	23	昭 48. 4
ひとつばな会	甘楽郡南牧村大字大日向1098 南牧村役場	4	昭 53.11
のびる会	伊勢崎市国定町2-2374 県立精神医療センター	35	昭 61. 5
ひまわりの会	太田市長手町26 麦の家	20	昭 61. 5
ポプラの会	高崎市宮元町25 地域生活支援センターアロマ	46	昭 63. 4
たけのこ会	館林市大街道1-2-5 地域生活支援センター若草	63	平 2. 3
プラムの会	安中市安中3-19-27 地域生活支援センタープラム	4	平 2. 5
いずみ会	渋川市金井1841-1 あすなる作業所	18	平 4. 4
よつば会	伊勢崎市下植木町499 伊勢崎保健福祉事務所	10	平 6. 7
わたらせ虹の会	桐生市元宿町9-38 虹の作業所	42	平 7.12
あざみ会	前橋市日輪寺町176-1 地域活動支援センターピアーズ	80	平 8. 4
あおぞら会	沼田市東原新町1801-40 あおぞら作業所	27	平 8. 5
もみじ会	富岡市七日市356-1 地域活動支援センターブレバレ	15	平 10.10
しらかば会	中之条町五反田3891 地域活動支援センターしらかば	11	平 11. 3
みさと会	高崎市箕郷町矢原1059-55 みさと作業所	10	平 16. 6
冬櫻会	藤岡市中栗須327 藤岡市福祉課	12	平 21. 4

群馬県精神障害者家族会連合会の主な活動

月	活 動 内 容	備 考
23年 5月	・第25回定期総会	場所：前橋市総合福祉会館 出席者：58名
8月	・つつじ会・作業所合同研修会 テーマ「各単会の歴史と活動の報告及び現況」	場所：前橋市総合福祉会館 出席者：35名
10月	第1回家族相談会開催 (中之条・吾妻管内：相談件数 9件)	場所：吾妻保健福祉事務所
12月	障害者作品展協力	県庁1階県民ホール
24年 1月	リーダー研修会開催 講演「障害者総合福祉法の 骨格提言の実現の方向性 - 精神障がい者とその家族のために -」 講師 全国精神保健福祉会連合会 川崎 洋子理事長 「群馬つつじ会だより 第22号」発行	場所：県社会福祉総合センター 出席者：47名
2月	第2回家族相談会開催 (高崎管内：相談件数 24件)	場所：高崎市役所

2) 群馬県精神保健福祉ボランティア連絡協議会(通称 東風の会)への支援

群馬県精神保健福祉ボランティア連絡協議会は、県内のボランティアグループの連合組織として平成17年4月に発足した。精神保健福祉の向上に寄与するため、各地域での精神保健福祉活動に対し、関係機関との連携を図りながらボランティア活動を展開している。

支援内容

平成20年度以降は、障害者自立支援法でボランティア養成が市町村の業務として位置づけられていることと、東風の会の活動も定着化してきたことから当センターの直接的支援は終了し、講師派遣や研修会での支援を行った。

県内精神保健福祉ボランティアグループ 11グループ 会員数271人
平成23年5月17日現在

グループの名称	事務局所在地	会員	設立年月
こぶしの会	太田市西本町41-34 東部保健福祉事務所	20	平5.4
たんぼぼの会	渋川市内(代表者宅)	18	平8.4
吾妻郡精神保健 ボランティア連絡 協議会 一本の手	吾妻郡中之条町内(代表者宅)	23	平12.4
やよい会	高崎市内(代表者宅)	43	平15.4
れんがの会	富岡市田島343-1 富岡保健福祉事務所	9	平15.4
めぶきの会	藤岡市下戸塚2-5 藤岡保健福祉事務所	25	平17.4
そよ風	伊勢崎市境上武士972-1 伊勢崎市社会福祉協議会境支所	34	平18.8
まゆだま	利根郡片品村内(代表者宅)	15	平19.5
陽だまり	館林市苗木町2452-1 館林市社会福祉協議会	45	平20.5
ほほえみの会	前橋市朝日町3-36-17 前橋市保健所健康増進課	21	平22.4
太陽の会	桐生市織姫町1-1 桐生市保健福祉部福祉課	18	平22.10

3) 精神保健福祉協会との連携

群馬県精神保健福祉協会は、群馬大学を中心として設立準備が進められ、関係団体の意見交換を経て、平成14年3月26日に設立された。当協会は、県民の精神保健福祉の向上を図ることを目的に、県民と地域社会の「こころの健康づくり」の推進をめざし、精神保健福祉に関する知識の普及・啓発、情報の収集・発信、精神障害者への理解を深めるための活動及び精神障害者の社会参加の推進など、会員の幅広い人材を活かした活動を行っている。こころの健康センターでは、各種事業の運営等支援を行っている。平成23年度の主な活動内容は下表のとおりである。

会員

団体会員：50団体 個人会員：187人（平成24年3月31日現在）

活動内容

月	活 動 内 容	備 考
5月	・第1回理事会	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 ・講演会 <ul style="list-style-type: none"> 講演1：「企業における就労サポート」 講 師：大東コーポレートサービス株式会社 代表取締役社長 山崎 亨 講演2：「eラーニングと中小企業に求められるメンタルヘルス対策」 講 師：群馬大学大学院保健学研究科 教授 椎原康史 ・第11回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技(精神障害部門)関東ブロック地区予選会へのチーム派遣 	<p>県生涯学習センター</p> <p>埼玉県</p>
7月	・第8回心の輝きスポーツ大会(バレーボール競技)	ALSOK ぐんまアリーナ
8月	・第2回理事会	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回「こころの電話相談」 ・広報・普及担当理事会 	
11月	・第2回「こころの電話相談」	
12月	・「群馬県精神保健福祉協会だより」第17号発行	1200部

月	活 動 内 容	備 考
24年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第27回こころの県民講座 テーマ：「災害時のこころのケア～いま、一人ひとりができること～」 演 題：「災害時のメンタルケア活動」 講 師：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 成人精神保健研究部 部長 金 吉晴 	群馬会館ホール
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回「こころの電話相談」 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回理事会 ・こころのふれあい研修会 テーマ：「私たちにとっての回復」 講 演：A A(アルコールクス アノニマス) E A(イモーションズ アノニマス) N A(ナルコティクス アノニマス) フェニックスの会 群馬ピアリンク 財団法人大利根会榛名病院院長 長谷川憲一 シンポジウム：講演団体の当事者メンバー等 ・「群馬県精神保健福祉協会だより」第18号発行 	<p>県庁</p> <p>1200部</p>

* 心の輝きスポーツ大会は協会と群馬県との共催、こころのふれあい研修会は協会と群馬メンタルヘルスネットワーク等との共催、こころの県民講座は協会と県こころの健康センターとの共催である。

(2) 精神保健福祉業務検討会

保健福祉事務所等と精神保健福祉業務の情報を共有し相互理解を深め課題や問題等を検討し、事業の充実及び円滑な業務の推進を図る。

【出席者】 保健福祉事務所 精神保健福祉業務関係職員

障害政策課 精神保健室関係職員

前橋市保健所 精神保健福祉担当職員

高崎市 障害福祉課職員

【開催内容】

	開催日	主 な 議 題
第 1 回	6月30日	業務説明 ・平成22年度精神科救急業務の実績について ・平成23年度自殺対策について ・平成23年度こころの健康センター研修計画について ・災害派遣（こころのケアチーム）活動状況について ・精神保健福祉台帳データベースについて
第 2 回	11月1日	業務報告 ・こころの健康センター・精神科救急情報センターから ・障害政策課精神保健室から
第 3 回	2月29日	業務報告 ・精神科救急情報センター業務について ・こころの健康推進事業思春期精神保健研修 「ひきこもり対策研修」報告について ・アウトリーチ事業研修会報告について